Art Basel
Hong Kong

プレスリリース
香港 | 2022 年 4 月 26 日

アートバーゼル、今年の香港フェアのハイライトを発表

- **アートバーゼルと M+による初の共同コミッションプロジェクトは、エレン・パウによるサイトスペシフィック映像作品「The Shape of Light（光のかたち）」を取り上げます。作品はフェアと連携する形で、M+正面壁（ファサード）に展示される予定です。**
- **アーティストトラムプロジェクトは、卓家慧（Cherie Cheuk）、黃進曦（Stephen Wong）、沈君怡（Shum Kwan-yi）の作品を、アートバーゼルのコミッションの元、香港政府観光局との共同プレゼンテーションとして紹介致します。**
- **ハイブリッド版フェア２回目の開催記念として、アートバーゼルのデジタルイニシアチブであるアートバーゼルライブをオンラインおよび実会場双方の観客に向けて再び実施致します。**
- **UBS をリードパートナーとするアートバーゼルは、2022 年 5 月 27 日と 5 月 29 日、内覧会を 2022 年 5 月 25 日から 26 日の日程にて開催致します。**

ハイブリッド版として２回目の開催となる 2022 年度のアートバーゼル香港は、28 の国と地域から 130 軒の主要ギャラリーを迎えます。ギャラリーズ、インサイト、ディスカバリーズ部門を通した強力なプレゼンテーションに加え、今年のフェアでは地元のアーティストに焦点を当て、香港および世界との有意義なつながりを生み出す精力的なパブリックプログラムを実施致します。そのプログラムコンテンツに、アートバーゼルと M+の共同コミッションの元、**リードパートナーである UBS の支援**を受け実現する香港を拠点とする映像アートの先駆者、**エレン・パウ**によるサイトスペシフィックな映像最新作「The Shape of Light（光のかたち）」や、アートバーゼルのコミッションの元、香港政府観光局が共同プレゼンテーションとして、**卓家慧（Cherie Cheuk Ka-wai）**、**黃進曦（Stephen Wong Chun-hei）**、**沈君怡（Shum Kwan-yi）**の作品を紹介するトラムプロジェクトなどが予定されています。また、アートバーゼルのデジタ

ルプラットフォームであるアートバーゼルライブは、今回もフェアのコンテンツを世界中の観客へと繋げてゆきます。

香港とその活況を極める地元のアートシーンを称え、アートバーゼルと M+は共同コミッションの元、光をデジタルオブジェクトに変換し、非物質と物質の可能性を探求するパウの「The Shape of Light（光のかたち）」を展示致します。大乗仏教で人気のある経典「般若心経」を取り上げ、手話を通して表現したこの儀式的ビデオは、「色即是空、空即是色」概念について熟考しています。火や水、光といった自然現象は、畏敬の念を喚起するコンピュータアニメーションで表現されています。作品は 5 月 20 日から 6 月 19 日までの毎日、午後 7 時から午後 9 時の時間帯に M+美術館ファサードに投影する形で展示されます。5 月 27 日にはエレン・パウによるライブパフォーマンス、5 月 28 日にはトークと上映会も開催されます。5 月 29 日から 6 月 1 日までの 4 日間はオンライン上映も予定されており、地元および海外の観客は、1988 年から 2015 年の間に制作されたパウの先駆的なビデオとインスタレーション作品の数々を視聴することが可能になります。

アートバーゼルのコミッションを受け、香港政府観光局が共同で発表するアーティストトラムプロジェクトでは、香港アーティストの卓家慧（Cherie Cheuk Ka-wai）、黃進曦（Stephen Wong Chun-hei）、沈君怡（Shum Kwan-yi）を招き、香港の最も象徴的な交通機関の 1 つであるトラム車両の外壁に作品を投影します。あたかも移動するキャンバスのように島内を周遊する 3 つトラムにはアーティストの鮮やかな想像力と街の景観や日常風景の体験が記録されており、それらは一般の人々や作家自身の香港の記憶とも重なってゆきます。

香港コンベンション＆エキシビションセンター（HKCEC）におけるフェア開催に合わせて、今回もオンラインビューイングルーム、ライブ配信ビデオやバーチャルツアー、多言語対応による VIP や一般来場者を対象とした解説などを盛り込んだアートバーゼルライブが実施されます。2022 年 2 月にアートバーゼルライブの一部として初披露された**アピチャポン・ウィーラセタクン**によるアーティストトークを含む、強力なオンラインカンバセーションシリーズも 5 月 20 日まで継続されます。シリーズには、アジア太平洋トリエンナーレの経緯を調査する専門家による対話や、アジアのギャラリーがアート市場をどのように再定義してきているかについてのトークも予定されています。

アートバーゼル、ディレクターアジアのアデリン・ウーイは以下のようにコメントしています。「香港のアートコミュニティや地元のパートナーとの協働を通して、香港において強力なパブリックプログラムを提供できるのは非常に喜ばしいことです。M+との協力の元、エレン・パウの新しいサイトスペシフィックな映像作品を紹介できることを光栄に思います。これは M+建築の LED ファサードを光で彩る、初めてのパブリックコミッションプロジェクトです。」

今年のフェアで同時開催される予定のファインアートアジアパビリオンでは、現代アーティストを招待しメディウムを超えて骨董要素を再解釈した新作も発表されます。Eric Leung Shiu Kee がキュレーションを担当するパビリオンは「ARTique」と題され、20 人のアーティストが集結する予定です。

大型インスタレーション

フェアでは厳選されたギャラリー陣による 6 つの大型インスタレーション作品が紹介されます。尊彩芸術中心（Liang Gallery）からは、身体と精神の抑圧から解放された性質を結びつける**徐永旭（Hsu Yunghsu）**による自由型の作品が、墨齋（Ink Studio）からは、北京を拠点とするアーティスト、**ビンギー（Bingyi）**の土地と気象プロジェクトから「Birth of BlackHoles、Birth of Geology、Birth of Water（ブラックホールの誕生、地質学の誕生、水の誕生）」を、また、ハナート TZ ギャラリーからは、アーティスト、**ゲイバード（GayBird**）の鼓動を響かせた 40 チャンネルのスピーカーシステムインスタレーション、フラワーズギャラリーからは、メディア消費の変容と日常体験に関する**モヴァナ・チェン**の作品、またアリサン・ファインアーツからは、香港の金魚街を想起させる**許開嬌（Angel Hui Hoi Kiu）**の作品と、ニューヨークを拠点とするアーティスト**、ミン・フェイ**が生と死のテーマを通して東洋と西洋の哲学を結びつける作品「ガーデン・オブ・ライフ」が紹介されます。

フィルム部門

北京とチューリッヒを拠点とするマルチメディアアーティストでプロデューサーのリー・ゼンフォア（Li Zhenhua）がキュレーションを務めるフィルム部門では、アーティストによるアーティストに関する 15 作品が紹介されます。これら作品群は 5 月 27 日と 5 月 28 日の期間、香港芸術センターのルイス・クー・シネマにおいて 3 回上映される予定です。5 月 27 日上映の「Birds without legs（脚のない鳥）」では、70 年代後半から現在までのアーティストの身体的および精神的な可動性の解釈を探求した 8 本の映画が上映されます。マイラ・チャン、ジョン・チャウ、カイル・チャン、Chung Wing

Shan、アーロン・ラム、エンジェル・リャンら共同キュレーター陣と共に、Videotageがキュレーションを担当しています。

その他のハイライトは次の通りです。**ティントン・チャン**によるインスタレーション作品「*Betelnut Tree*（ビンロウの木）」「Bird's Nest Fern（シマオオタニワタリ）」「Giant African Snail（アフリカマイマイ）」は、セミドキュメンタリービデオと、2020年にアーティスト自身がアミ部族ハンターと共に台湾の山中に制作した住居と装置から構成されています。**ハイラ・ワヒード**の「*The Spiral*（*螺旋*）」では、螺旋形状に関する熟考が、また**サムソン・ヤン**の「Sonata for Smoke（煙の為のソナタ）」は、京都建仁寺にある両足院でのアーティストレジデンス参加に際して制作されました。**アリス・ワン**の「Pyramids and Parabolas II（ピラミッドと放物線 II）」は、2017年に自身が開始した無限映画シリーズの第 2 弾で、幾何学的構造を通じて未知の宇宙とどのようにコミュニケーションし得るのかを探求しています。全ての上映は無料で一般公開されます。座席数には限りがございますのであらかじめご了承ください。
上映スケジュールの詳細はアートバーゼルのオンラインイベントカレンダーでご確認頂けます。

アートバーゼルの最優先事項は、引き続きスタッフや出展者並びに来場者の健康と安全です。香港政府と保健省健康防御センターによって定められた規制に従い、すべての参加者は入場時に LeaveHomeSafe アプリを通し、２度のワクチン接種証明の提示が義務付けられています。医療免除のある来場者は、新型コロナワクチン接種医療免除証明書の提出が必要となります。QRコードなしでワクチン接種記録または免除証明書を提示する方については、現地会場において免除書類への記入が義務付けられています。

チケットは現在、https://ticket.artbaselhk.online/ にて発売中です。

編集者の皆様へ

アート・バーゼルについて
1970年、バーゼルのギャラリストたちによって設立されたアートバーゼルは、近現代アートを紹介する世界随一のアートフェアを、バーゼル、マイアミビーチ、香港で開催しています。開催都市と地域によってそれぞれのフェアには独自性がうまれ、それは参

加ギャラリーや展示作品、また各回毎に地元機関とのコラボレーションの元同時開催されているプログラム内容にもあらわれています。アートバーゼルの役割はアートフェアの領域を超えて拡大しており、新しいデジタルプラットフォームやアートバーゼルとUBS によるグローバル・アートマーケットリポート、インターセクションズ：アートバーゼルポッドキャストや BMW アートジャーニーなど多くの新しいイニシアチブを展開しています。詳しくは artbasel.com をご参照下さい。

パートナー

UBS & コンテンポラリーアート

アートバーゼルのリードパートナーである UBS は、長年にわたり、現代アート並びにアーティストの支援を続けてきました。同社は世界的に最も優れた企業アートコレクションのひとつに数えられるコレクションを保有しており、アートバーゼルのグローバル・リードパートナーシップを通じて、また「アートバーゼルと UBS｜グローバルアートマーケットレポート」の共同発行者として、アートマーケットおける国際的な対話促進に務めています。UBS はまた、スイスのバイエラー財団、オーストラリアのニューサウスウェールズ州立美術館などの美術機関とも提携しています。同社は UBS コレクターサークル並びに UBS アートアドバイザリーの活動を通じて、アートマーケットや蒐集、レガシープランニングに関する知識をクライアントに提供しています。UBS による現代アートへの取り組みの詳細については ubs.com/art をご参照下さい。

アートバーゼルの**アソシエイト・パートナー**は、オーデマ ・ピゲです。同社の現代アートプログラムである「オーデマ ・ピゲ・コンテンポラリー」は、国際的に活躍するアーティストへのコミッション依頼を通して、その作品制作を支援しています。アートバーゼルはまた、BMW、ラ・プレーリー、ルイナールなどの全面支援を受けています。アートバーゼル香港は、テゾス、香港政府観光局、スワイヤ・プロパティーズ（太古地産）、ザ・マッカラン、ローズウッドホテルズ＆リゾーツ、クインテセンシャリー、そして タイピンの支援を受けています。アートバーゼルのグローバルメディアパートナーは、フィナンシャルタイムズです。パートナーシップについての詳細は artbasel.com/partners をご覧下さい。

内覧会 （招待制）

2022 年 5 月 25 日（水）正午-20 時

2022 年 5 月 26 日（木）正午-20 時

2022年5月27日（金）正午-14時

2022年5月28日（土）正午-14時

2022年5月29日（日）11時-正午

ヴェルニサージュ

2022年5月27日（金）14時-20時

一般公開

2022年5月28日（土）14時-20時

2022年5月29日（日）正午-18時

プレス認定

アートバーゼル香港へのオンラインプレス認定登録は現在受付中です。

詳細は artbasel.com/accreditation をご参照下さい。

今後のアートバーゼル開催予定

香港、 2022年5月27日-29日

バーゼル、 2022年6月16日-19日

マイアミ・ビーチ、 2022年12月1日-3日

オンラインプレス情報

プレス情報、画像は artbasel.com/press から直接ダウンロード頂けます。

報道関係者はメディアメーリングリストにご登録頂くと、アートバーゼルの情報を受け取ることができます。

アートバーゼルに関する最新情報は artbasel.com をご覧下さい。また、Facebook ページは facebook.com/artbasel、インスタグラム・ツイッター・Wechat では @artbasel にてフォロー頂けます。

プレス連絡先

アートバーゼル｜Sarah Degen（インターナショナルメディア対応）

電話 +41 58 206 27 06、press@artbasel.com

アートバーゼル｜Fay Pang（アジアメディア対応）

電話 +852 2575 8487、press@artbasel.com

アジア向け PR 担当
SUTTON｜ Carol Lo
電話 +852 2528 0792、carol@suttoncomms.com

欧州向け PR 担当
SUTTON｜Joseph Lamb
電話 +44 7715 666 041、joseph@suttoncomms.com

南北アメリカ、中東、アフリカ向け PR 担当
FITZ & CO｜Yun Lee
電話 +1 646 589 0920、ylee@fitzandco.com